



学校だより 10月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

田奈っ子の学びの場には「喜び」がいっぱい！

校長 大原 敦子

朝夕の気温がぐっと下がり、日中の暑さも質が変わってきました。最近では夕暮れも早くなったなど痛感します。先日の朝会で、以前話した6月21日の夏至と9月23日の秋分の日、日の出・日の入り時刻を比べてみました。夏至の日の出は4時25分、秋分の日の日出は5時29分。日の入りに至っては、夏至は19時だったのが、秋分の日は17時37分。夕暮れが早くなったと感じるのも当然ですね。子どもたちには、日の入りが早くなっているの、帰宅時刻をおうちの方々と確認するように話しました。



読み聞かせボランティアの「ぐりとぐらの会」の皆様が1年生に読み聞かせをしてくださっているところを見ました。普段ならば、私が廊下から覗いているとすぐに気付く子どもたちが、お話の世界にすっかり引き込まれていて、全く私に気付きません。「読書の秋」につながるすてきな活動だと嬉しくなりました。第二校舎前の金木犀も咲きはじめ、甘い香りが周りに広がり、より一層秋らしさを感じています。

4年生の空気てっぽうを使った学習について、職員室で次のような会話がありました。学習活動を体育館で行う予定だとのことで、「この空気てっぽうは思ったよりも遠くまで飛ぶんですよ」とAさんが言います。それを聞いてBさんは「筒の長さが短くなればそんなに飛ばないのにね」と答えました。そばで話を聞いていた私は、一瞬なぜその発言があったのかわかりませんでした。筒が短くなれば、押し縮められる空気が減るので、玉を飛ばす力が小さくなるのだと理解できて、とても嬉しくなりました。

子どもたちの学習の中でも、「友達と話し合うことで自分が気付いていなかった視点が増えたり、理解を深めたりする喜び」があります。まさに、こういうことだと自分で実感した出来事でした。

5年生が地域の方にご指導いただいて取り組んでいる稲作の活動。稲刈りの予定が田の状況で延期となりました。これまでも、種もみまきや田植えを体験し、稲の様子を観察したり、草取りなどの手入れをしたりしてきました。自然を相手に農作物を育てるということは、自分たちの思いや予定だけでは進められない厳しさがあることも体験しました。そして、これから行う稲刈りや脱穀、餅つきや藁草履づくりなどは、実際に体験した者にしか分からない体が覚える感覚が得られます。これらは、どの学年にも様々な学習活動の中にあり、「実際に自分が体験することで得る喜び」といえます。

10月7日(金)は、前期終業の日です。お渡しするあゆみには、お子様の前期の様子や、上記のような学習活動から得られた「喜び」が書かれています。ご家庭でもあゆみをもとに、お子様の得た「喜び」を振り返っていただくと幸いです。

後期には、3年ぶりとなる4～6年生の宿泊体験学習や修学旅行があります。また、田奈のみのりでは、前述のように餅つきも実施予定です。子どもたちには、友達とかかわり様々な体験をして、さらに大きな喜びを得てほしいと職員一同願っています。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ・お願い

○学校だより、学年だよりの内容を10月より一部変更いたしました。

行事や下校時刻は学校だよりに一本化いたしました。また、150周年に向けて広く皆様に学校の様子をお伝えできるよう、「田奈っ子の様子」は学校HPに毎月初旬に掲載予定です。何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

○日課表の時程を一部変更します。

後期より、昼休みと清掃の時程を変更いたします。今まで、学年によって「昼休み・清掃」「清掃・昼休み」と2つのパターンがありましたが、全校統一して「昼休み・清掃」の順にいたします。それによる下校時刻の変更はございません。よろしくお願いいたします。